

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年5月14日(木)13時30分～15時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

事業計画統括部 次長

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他13名

5. 要旨

○原子力機構から、冒頭にガラス固化処理技術開発施設に係る結合装置の製作及び3号溶融炉の製作の進捗状況について、おおむねスケジュール通り進んでいる旨報告があった後、資料に基づき安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請への対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた

(資料1について)

- ・荷重算定条件において、荷重の組合せのケース、波力算定津波高さ、浮力算定用津波高さ、加速度、水平震度などの評価の前提となる条件の考え方が資料中で明確に示されておらず、全体として説明が不足している。原子力機構の他拠点における設工認申請の内容を参考に、資料を作り込むこと。

(資料3について)

- ・本資料については、今後提示される予定である東海再処理施設に係る「安全に関する情報リスト」の補足資料として示されるものと理解しているが、本資料においても、単に容器の形状や重量等について示すのではなく、容器の密閉方法や固縛の状況なども併せて示すこと。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：HAW 建家健全性評価（波力、余震重畳）について

資料2：東海再処理施設における代表漂流物の選定について

資料3：容器に係る情報リストについて

資料4：東海再処理施設の安全対策に係る5月までの面談スケジュール（案）について